平成24年度一般会計予算案 ▼期待・留意点をのべ、賛成

【期待・施行上の留意点】

●地域防災計画の見直しは業者委託（464万円）ではなく、今ある防災計画を住民代表などと細かく見直す作業の方が実際の防災に役立つと考える。

●子育てしやすい町にするため18歳までの医療費の無料化や就学援助の充実の施策を求める。

●池田保育園の建設で、町建設業者が発注を受け町に経済的効果が生まれる取り組みを求める。

●住宅リフォーム助成制度予算の200万円は、予算額として少なく残念である。補正で対応するとの町の考えが明確になったので期待したい。

●高齢化がすすみ買い物、病院への足の確保がますます重要になっている。具体的施策を先に延ばさない取り組みを求める。

●介護保険料の大幅な引き上げで保険料の未納や要介護者の未利用が増える恐れがある。保険料の減免対象者や利用料の減額申請には、職員のきめ細かな対応が必要である。

●保険証が手元にないため、医者にかかれない人が出ない取り組みを求める。

●総合型地域スポーツクラブ設立は、町民の世代を超えた幅広い交流と健康増進につながるよう期待したい。

●ヘリポート整備事業は、多額な予算をつぎ込むことになる。できるだけ予算額を減らし、日常、多目的に使用できる対応を求める。

●高瀬川堤防道路工事費654万円については、県の高規格道路の路線未決定の段階で、道路を整備する事は税金を無駄にすることになりかねない。予算執行を慎重にお願いしたい。

後期高齢者医療特別会計予算案について ▼次の理由で反対。

【反対理由】

今回の改定で、平均保険料は年49920円となり、23年度に比べ値上げ額は年2436円になる。被保険者にとって大きな負担となる。

【陳情・請願】

◎国に対し消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情書
提出者　北アルプス民主商工会

▼不採択：共産党議員団は採択を主張したが、賛成少数で不採択。

次の項目は全て採択された。党議員団も賛成した。

○耐震診断・耐震改修に関する陳情書
陳情者：県建築士事務所協会

○直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業の支援を求める陳情書
陳情者：国交省管理職ユニオン

○B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願
請願者：すべての肝炎患者の救済を求める全国センター

池田保育園建設工事の入札について

うすい　池田保育園の建設工事は24年度事業として実施される。

勝山町長　町独自の自主財源は町民参加での検討ではなく、やる気のある人を応援する施策を商工会と連携して考えていきたい。

美術館の改革は美術館運営協議会の中で協議していく。

うすい　町独自の自主財源を産み出す方策について町民参加で検討する時期にきていると考える。

一例として、毎年3千万円程度の赤字が出ている美術館の活用法について、町民参加で検討すべきと思うが、町長はどう考えるか。

勝山町長　町独自の自主財源は町民参加での検討ではなく、やる気のある人を応援する施策を商工会と連携して考えていきたい。

美術館の改革は美術館運営協議会の中で協議していく。

防災対策の推進

うすい　地震発生時にとるべき個人・隣組・自主防災組織の具体的な行動マニュアル及び災害時要援護者（高齢者、障害者など）の避難マニュアルを策定し、町民に示して欲しい。

町の建設業者の工事参加を推進するため次の3点を入札方法に取り入れて欲しい。

①工事の種類（本体工事、電気工事、設備管工事、舗装・外構工事など）毎に分離・分割する発注を。

②地元業者と県内業者との共同企業体方式（JV）での入札を。

③工事の質を保ち、建設業者の営業を守るため落札業者の選定に当たり最低制限価格（※）の設定を。

宮島副町長　発注方法は発注時期（6月下旬～7月上旬）に検討する。

※　予定価格の一定率（85%など）以下の入札額は落札できない。

一般質問

薄井孝彦議員

人口増対策

人口増・若者定住対策、町財政の運営、池田保育園建設工事の入札、防災対策の推進の4点について質問しました。

うすい　町の人口増と若者定住対策を検討・推進するため、町民参加の検討委員会の立ち上げを。

勝山町長　現時点では委員会立ち上げを考えていない。

うすい　若者定住を促進するため生坂村・松川村で実施している高校卒業までの医療費無料化を検討する予定はないか。

勝山町長　現状では実施する考えはない。

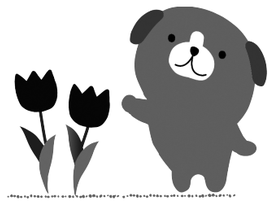
町財政の運営について

うすい　町の地方債残高（借金）は平成22年度末で115億6700万円である。この額は町民1人当たり約112万円、1世帯当たり約325万円となる。

町は長期の返済計画を作成し、町民に知らせる必要があるので考えを聞きたい。また、参考までに29年度以降新たな借り入れをしない場合、計算上の10年・20年後の地方債残高はいくらになるか。

相馬総務課長　計算上の地方債残高は10年後51億7700万円、20年後18億9800万円である。

起債の長期の返済計画を町民に知らせる必要があるが、将来の借り入れ額がはっきりしないと返済計画も決まらない。



防災訓練ではマニュアルに沿った訓練を年2回行って欲しい。

相馬総務課長　マニュアルは作成する。年2回訓練は関係団体などと検討する。

うすい　五丁目にある消防団第1分団2部詰所は災害時に倒壊の恐れがあることが判明している。

二・三・四・五丁目の自治会長から「町が事業主体となり、全額町費負担で詰所を建て替えて欲しい」との要望書を町に提出したとされている。

町はそれに対し、大で250万円補助の消防施設設置事業補助金交付要綱を活用して自治会で対応されたいとの回答であり、当該自治会長は多額の町負担になるので困惑している。詰所の建て替えは町事業主体・町費負担で進めて欲しい。

その際、国の「緊急防災・減災事業（単独）」（元利償還金の交付税参入率70%）の活用を検討して欲しい。

高瀬川ダム対策

勝山町長　補助金交付要綱の見直しや国の事業の活用を検討し、地元負担が少なくなる方向で取り組む。

うすい　避難施設となる集会所の建て替えには厚生省の「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（補助率100%）」の活用を推進して欲しい。

桑沢福祉課長　厚生省の交付金は25年度には手を上げていく方向で、現在、自治会にアンケート調査を行っている。

写真：高瀬川ダム（ロックフィルダム）

うすい　高瀬川ダム災害を想定し、震度4以上の時は、ダム管理者と流域自治体との連絡体制の構築を推進して欲しい。

勝山町長　連絡体制の構築を提案していく。

うすい　高瀬川ダム災害を想定して、町は関連市町村に「調査検討委員会」の立ち上げを働きかけて欲しい。

勝山町長　提唱していく。

うすい　大町市長は国・県に対しダムの安全性の検証、確認を行うよう要請している。

町長も大町市長と連携して要請行動を行って欲しい。

勝山町長　広域連合の連携で対応していく。

うすい　安曇野市豊科高家の自主防災会は梓川ダム災害を想定して避難場所・建物を決めた。

池田町でもダム災害を想定して、避難場所・建物を決める取りくみを。

勝山町長　取り組む